

長野ガーフ今度こそ雪辱!!

【スポーツ後援】JA長野県杯全日本ユース(U-15)サッカーフィニッシュトーナメント有力チーム紹介(19日開幕 千曲市サッカー場など)

△長野ガーフメンバー△
監督=大山謙(58)
コーチ=今井大介(28)、西村陽介(26)

背番	位置	選手名	学年	中学校
1	GK	和田真太③	長野東部	
2	D F	山岸彰平③	若穂	
3	D F	吉田椋一③	三陽	
4	D F	金子優大③	長野北部	
5	M F	小林大夢③	厚陵	
6	F W	山崎浩志③	信大長野	
7	F W	浜田耕平③	若穂	
8	M F	栗野原嘉洋③	長野東部	
9	M F	野口哲暉③	甲斐北	
10	M F	上野真之③	長野北部	
11	F W	ツバメイケン③	厚陵	
12	M F	高木誠司②	三陽	
13	M F	佐藤克樹②	甲斐北	
14	M F	畠田和樹②	北陵	
15	D F	高池優大②	北陵	
16	D F	高池航大②	北陵	
17	D F	轟博瑛②	北陵	
18	G K	鶴竹優気②	桜ヶ岡	
19	F W	山下亮亮②	信大長野	
20	M F	横田佑都②	三原	
21	M F	田村拓哉②	信大長野	
22	D F	石田亮太②	信大長野	
23	F W	小林幸太郎②	信大長野	
24	D F	渡辺純也②	厚陵	

*学年の●数字は主将

北信地区3位の長野ガーフは02年以来2度目の優勝を目指す。決勝トーナメント進出は2年ぶり。ボランチ上野主将は「(ずっと)勝ち続けられなかつたことが悔しい」と、そのリベンジを果たすつもりでいる。

北信予選を振り返って大山監督は「走り勝ってボールを動かすサッカーが前後半60分間を通してできなかった」と反省する。特に気が抜ける時間帯に中盤でのプレスが甘くなり、得点を許すシーンが何度かあった。その修正が決勝トーナメントまでに急がれる。

システムはダブルボランチを採用する4-4-2。大山監督が「どちらかといえば攻撃重視」というチームの中心となるのが屋代



7年ぶりの優勝を目指す

中、更埴西中戦でハットトリックを達成したFW浜田。チーム2番目の身長1㍍74を生かしたポストプレーでチャンスマークするほか、ゴールもどん欲に狙う。「県大会では1試合1得点取りたい」と浜田は話し、コンビを組むFW栗野原は「浜田とのコンビは組みやすい。浜田にボールが渡ったら走りだす」ときゅう覚を研ぎ澄ます。

練習は土、日曜のグラウンドトレードと月、金曜の体育館練習。小学校から同じメニューをこなしてきた3年生にとって最後の大会となる。「負けたら最後。少

しでも長く一緒にプレーしたい」と上野主将は仲間を見渡した。

ガーフとはポルトガル語で「選ばれし者」という意味。北信3位から県の頂点に『選ばれし者』を目指す。

和田完封任せろ

○…守護神の和田がゴルマウス死守を誓った。北信予選準決勝では長野パルセイロに1点を喫したが、同3位決定戦では無失点。「DF陣と連動して動いて、自分の守備範囲は確実に守りたい。ペナルティーエリア外のシュートは絶対に止める」と決意を決めた。